

## 公益財団法人 日本腎臓財団 設立 50 周年を迎えて

昭和 47 (1972) 年 9 月 1 日、日本腎臓財団の前身「財団法人腎研究会」が設立され、本年、日本腎臓財団は設立 50 周年を迎えました。

当時、透析療法は腎不全患者さんの救命手段として普及途上にはありましたが、患者数は 3,600 人と現在のおよそ 1/100 に過ぎず、1 年生存できる方が約半分、5 年生存率に至っては 5%未滿と、その予後は現在と比べると大変厳しい状況にありました。

さらに患者さんと家族を苦しめていたのは、医療費の問題でした。透析療法は、健康保険に収載されてはいましたが、高額医療であることから自己負担分を支払うことができず、まさに「金の切れ目が命の切れ目」が稀ではない悲劇的な状態が続いていました。

こうした状況に心を痛めていたある企業の研究者が、透析医療の向上と透析に至らない医学・医療の研究・開発、さらに現状に苦しむ患者さん救済の必要性とそれに応える団体設立を社のトップに訴え、これが財界、医学界の共感を得て、腎研究会の設立に結び付きました。

昭和 47 年は、当財団の設立と共に、透析医療に更生医療が適用され、患者さんが医療費の心配をせずに治療に専念できるようになった記念すべき年でありました。

こうした設立の経緯から、当財団は医学界から理事長、経済界から会長が就任し、互いに協力して腎臓学・腎不全治療の発展、および患者さんを支える事業を展開して参りました。

そして、財団法人 腎研究会は平成 13 年に「財団法人 日本腎臓財団」に、平成 23 年には「公益財団法人 日本腎臓財団」へと名称が変更され、「腎臓学の研究助成、腎疾患治療の普及と患者さんの社会復帰促進、腎疾患医療スタッフの育成、腎疾患治療の重要性の啓発」をもって国民の健康に寄与する事業を継続していますが、その活動には設立の際の思いが脈々と受け継がれています。

設立 50 周年を迎えるに当たり、この 50 年間の皆様の絶大なご支援に深く感謝申し上げますと共に、役員一同初心を忘れず、覚悟を新たに皆様のご期待に添えていく所存です。今後とも一層のご支援とご厚誼を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 4 年 9 月

公益財団法人 日本腎臓財団  
理事長 秋澤忠男

